

## コンデンサ制御継電器検査成績書

納入先

検査期日 年 月 日

工事番号

形 式	EWR-1	定 格 電 圧	110V cont.	定 格 周 波 数	50/60 Hz
動 作 原 理	静 止 形	定 格 電 流	5 A cont.	制 御 群 数	1 ~ 6 群
準 拠 規 格	JEC-174	整 定 範 囲	中心値: 0 ~ 100 var		
制 御 電 圧	AC110V		設定幅: ±10 ~ 100 var		
数 量	台	製 造 番 号	限 時: 30 ~ 120 s		

試験項目・試験結果 試験周波数 温度 °C 湿度 %

試 験 項 目	試 験 内 容	試 験 結 果
構 造 検 査	構造・外観・表示事項及び塗装	
絶 縁 抵 抗 試 験	回路一括・外箱間: 10MΩ以上 (規格値)	
耐 電 圧 試 験	回路一括・外箱間: 2.0kV 60Hz 1分間	
特 性 試 験	(注) 下記項目の試験を実施する。	
項 目	試 験 内 容	判 定 基 準
1. 動 作 値 (投入 θ: 0° 引きはずし θ: 180°)	1) 中心値制定 設定幅整定最大にて、中心値各整定の投入及び引き外しの動作値を測定。 2) 設定幅整定 中心値整定最大にて、設定幅各整定の投入及び引き外しの動作値を測定。	最大整定値の ±5%以内
2. 位 相 特 性	中心値、設定幅整定共に最大にて位相角Lead60°, Lag60°の投入動作値を測定。	最大整定値の ±5%以内
3. 動 作 時 間	中心値整定: 0var, 設定幅整定: 最大θ: 0° 入力: 0→設定幅整定の200%	最大整定値の ±10%以内
4. シーケンス 試験	無効電力が整定値以上であることを検出して限時時間を経過したのち、投入又は引き外しを5秒間隔でできること。	異常なきこと

備 考

- (1) 位相 (θ) はVbcに対するIaの位相角を示す。  
(2) 判定基準欄の『最大整定値』とは  
『中心値整定最大』+『設定幅整定最大』を示す。

承認 作成

# コンデンサ制御継電器検査成績書

納入先

検査期日 年 月 日

工事番号

形 式	EWR-1	定 格 電 圧	110V cont.	定 格 周 波 数	50/60 Hz
動 作 原 理	静 止 形	定 格 電 流	1 A cont.	制 御 群 数	1 ~ 6 群
準 拠 規 格	JEC-174	整 定 範 囲	中心値: 0 ~ 40 var		
制 御 電 圧	AC110V		設定幅: ±4 ~ 40 var		
数 量	台	製 造 番 号	限 時: 30 ~ 120 s		

試験項目・試験結果      試験周波数      温度      °C      湿度      %

試験項目	試験内容	試験結果
構造検査	構造・外観・表示事項及び塗装	
絶縁抵抗試験	回路一括・外箱間: 10MΩ以上(規格値)	
耐電圧試験	回路一括・外箱間: 2.0kV 60Hz 1分間	
特性試験	(注) 下記項目の試験を実施する。	

項目	試験内容	判定基準
1. 動作値 (投入 θ: 0° 引きはずし θ: 180°)	1) 中心値制定 設定幅整定最大にて、中心値各整定の投入及び引き外しの動作値を測定。 2) 設定幅整定 中心値整定最大にて、設定幅各整定の投入及び引き外しの動作値を測定。	最大整定値の ±5%以内
2. 位相特性	中心値、設定幅整定共に最大にて位相角Lead 6.0°, Lag 6.0°の投入動作値を測定。	最大整定値の ±5%以内
3. 動作時間	中心値整定: 0var, 設定幅整定: 最大θ: 0° 入力: 0→設定幅整定の200%	最大整定値の ±10%以内
4. シーケンス試験	無効電力が整定値以上であることを検出して限時時間を経過したのち、投入又は引き外しを5秒間隔でできること。	異常なきこと

備 考

- (1) 位相(θ)はVbcに対するIaの位相角を示す。  
 (2) 判定基準欄の『最大整定値』とは  
 『中心値整定最大』+『設定幅整定最大』を示す。

承認	作成

# コンデンサ制御継電器検査成績書

納入先

検査期日 年 月 日

工事番号

形 式	EWR-1	定 格 電 圧	110V cont.	定 格 周 波 数	50/60 Hz
動 作 原 理	静 止 形	定 格 電 流	5 A cont.	制 御 群 数	1 ~ 6 群
準 拠 規 格	JEC-174	整 定 範 囲	中心値: 0 ~ 200 var		
制 御 電 圧	AC110V		設定幅: ±20 ~ 200 var		
数 量	台	製 造 番 号	限 時: 30 ~ 120 s		

試験項目・試験結果 試験周波数 温度 ℃ 湿度 %

試験項目	試験内容	試験結果
構造検査	構造・外観・表示事項及び塗装	
絶縁抵抗試験	回路一括・外箱間: 10MΩ以上(規格値)	
耐電圧試験	回路一括・外箱間: 2.0kV 60Hz 1分間	
特性試験	(注) 下記項目の試験を実施する。	

項目	試験内容	判定基準
1. 動作値 (投入 θ: 0° 引きはずし θ: 180°)	1) 中心値制定 設定幅整定最大にて、中心値各整定の投入及び引き外しの動作値を測定。 2) 設定幅整定 中心値整定最大にて、設定幅各整定の投入及び引き外しの動作値を測定。	最大整定値の ±5%以内
2. 位相特性	中心値、設定幅整定共に最大にて位相角Lead 60°, Lag 60°の投入動作値を測定。	最大整定値の ±5%以内
3. 動作時間	中心値整定: 0 var, 設定幅整定: 最大 θ: 0° 入力: 0 → 設定幅整定の200%	最大整定値の ±10%以内
4. シーケンス試験	無効電力が整定値以上であることを検出して限時時間を経過したのち、投入又は引き外しを5秒間隔でできること。	異常なきこと

備 考

- (1) 位相(θ)はVbcに対するIaの位相角を示す。  
 (2) 判定基準欄の『最大整定値』とは  
 『中心値整定最大』+『設定幅整定最大』を示す。

承認 作成

--	--